

新年度のスタートにあたって

校長 相川 保 敏

🌸 お子様の入学・進級おめでとうございます。



この写真は4月5日の入学式前に撮影したものです。ピンクの桜が87名の新1年生を迎えてくれました。今年3月に冷え込みがあったため何とか始業式まで桜が残りました。満開の桜を直接見ることができませんでしたが、始業式で映像による花見を行いました。

さて、4月のめあては「めあてを考えよう」です。子どもたちは新たな年度の始まりを迎え、各自がめあてを立てます。学校のめあては、学校通信1月号で紹介しましたが、相山女学園の中期計画を受けて子どもたちの思いを大切に学習、本校の特色をさらに高めていく学習を次のように推進していこうと考えます。

(1) 課題解決型学習（プロジェクト型学習）の推進

子どもたちは様々な願いや思いをもっています。昨年度に子どもたちから直接校長に提示されたあったものを例に挙げてみます。2年生児童から「学校で『新しいカギ』（フジTV）に応募して『学校かくれんぼ』をやしてほしい」というものでした。子どもらしい発想が良いですね。また、校長室に届けられた5年生の学級新聞には、「給食について物申す。節分の日に出ていた恵方巻が出なかった」というものでした。給食は提供されたものを食べるだけでなく、メニューそのものに対する問題意識を抱いた点が良いですね。どちらも、容易に実現したり、改善したりできるものではありませんが、自分たちで学校生活を楽しいものにしたい、よりよいものにしたいという思いが強く感じられます。

コロナ禍で大人の言うことに従って行動していくことに慣れてしまった子どもたちに「どうしたら実現できるのか」を考え、実行させていくのがプロジェクト型学習です。この学習では、成功する場合もあれば、失敗する場合も想定されます。うまくいかない理由は何なのか、どうしたらよいのかを考えることも学習の成果としてとらえていき

ます。プロジェクトの内容については、子どもたちと学年の先生で相談して決めていくこととなりますが、まずは6年生から進めていく予定です。

(2) 個別最適な学びの充実

個々の状況に応じた学びの提供を図っていきます。具体的には、英語力の個人差が顕著になる高学年において、速いペースで学習を進めるグループ、丁寧にゆっくりと学習を進めるグループの2つに1学級を分けて授業を進めます。誰もが主体的に取り組んでいけることを目指し、まずは6年生から進めていく予定です。

また、個人差が顕著に表れる算数においても、抽象的な思考を求められる4年生までに、AIドリルを活用し基礎・基本を定着できるように取り組んでいきます。3年生以下の学年で取り組みますが、その際学年の枠を超えて戻ったり、進んだりできるようにしていく予定です。

(3) 日本文化の継承の充実

本校の特色である日本文化の継承は、毛筆や百人一首のように全学年で行われているものと、日本舞踊や茶道体験のように、単学年で行われているものがあります。そこで、単学年で行われていたものを複数学年で継続的に進めるように取り組み、日本文化の継承の充実を図っていきます。まずは、2年生で行われていた日本舞踊体験を引き続き3年生でも行っていく予定です。

(4) 相山女学園大学との連携

7学部11学科4研究科を有する総合大学としての強みを生かし、学園に新設される「トータルライフデザインセンター」を活用し



て、小学校のプロジェクト型学習やキャリア教育に、多くの学部の教員や学生に助言や支援をお願いしていきます。

最後になりますが、本年度もこれまでと同様に本校の教育にご理解とご協力をお願い申し上げます。